

2021年度 日本工学院八王子専門学校

電気・電子科 電気工事コース

電気法令

| | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-----|----|------|---|----|-------|-----|----|----|---|
| 対象 | 1年次 | 開講期 | 後期 | 区分 | 必 | 種別 | 講義 | 時間数 | 60 | 単位 | 4 |
| 担当教員 | 佐野 真鈴 | | | 実務経験 | 有 | 職種 | 電気技術者 | | | | |

授業概要

電気工事を行い工作物の維持・管理・運用をする為には、電気関係法規の目的を理解し、それを遵守する事が必要となる。具体的な事例を示しながら各法令の重要性を学び、理解する事を目的とする。この科目は「電気施工方法1」「電気工事実習1」などの科目と関連性があり、第二種電気工事士の養成施設の認定科目であるので、単位の取得が必須となる。

到達目標

第二種電気工事士試験（国家試験）に合格するレベルの知識と技術を習得する事を目標とする。

授業方法

教科書や配布資料をもとにし授業を進める。各テーマごとに練習問題を配布し、授業の要点を確認しながら確実に理解度が向上する様に進めていく。また、電設業界の現場で必要とされる業務に関わる知識・技術の情報について適宜提供していく。質疑応答は隨時受け付ける。

成績評価方法

試験・課題：80%試験と課題を総合的に評価する。小テスト：10%授業内容の理解度を確認するために中間試験を実施する。平常点：10%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

履修上の注意

授業中の私語や授業態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。遅刻、欠席、課題提出の遅れや未提出は、評価の対象とする。尚、オンライン授業であっても同じ条件となる。

教科書教材

第二種電気工事士筆記完全マスター第2版／電気設備技術基準・解釈／自作プリント

| 回数 | 授業計画 |
|-----|-----------|
| 第1回 | 電気事業法(1) |
| 第2回 | 電気事業法(2) |
| 第3回 | 電気工事士法(1) |

| | |
|--------|--------------------|
| 第 4 回 | 電気工事士法(2) |
| 第 5 回 | 電気工事業の適正化に関する法律(1) |
| 第 6 回 | 電気工事業の適正化に関する法律(2) |
| 第 7 回 | 電気用品安全法(1) |
| 第 8 回 | 電気用品安全法(2) |
| 第 9 回 | 電気関係法令(1) |
| 第 10 回 | 電気関係法令(2) |
| 第 11 回 | 電気設備技術基準とその解釈(1) |
| 第 12 回 | 電気設備技術基準とその解釈(2) |
| 第 13 回 | 電気設備技術基準とその解釈(3) |
| 第 14 回 | 電気設備技術基準とその解釈(4) |
| 第 15 回 | 電気設備技術基準とその解釈(5) |

| | |
|------|------------|
| 第16回 | 電力需給計画 |
| 第17回 | 電力施設の保守管理 |
| 第18回 | 電力系統の構成と運用 |
| 第19回 | 電力料金 |
| 第20回 | 総論 |